



アンコールクライマーズネット (ACN) ニューズレター

by Angkor Climbers net

アウトドア総合ブランド (株) モンベル、アウトドアギヤ輸入販売 (株) ロストアローより賛同・支援をいただいています。

<http://www.angkorclimbers.net/>

2010/8/31 第4号

★★★

2009年度・会計報告

★★★



(左) 日曜日の早朝、ウォールでリードトレーニングする15歳のインストラクター候補生ソチェット。NCCCに保護されているハートチャイルドと呼ばれる孤児だ。やるたびにうまくなっているのがびっくりする。最近はお姉さんのサオピア(17歳)もトレーニングに参加するようになった。アプサラダンスで培った柔軟性が強力な持ち味で、丁寧な登り方が印象的。恵まれたセンスは血筋かもしれないが、幸福な家庭なら孤児にはならなかった。

(下) シソポン「神々の寝床」エリアにて。高度感たっぷりのテンプルガリーバットレス(5.10a)上部を登る12歳のハートチャイルド(孤児)、がんばりやのロイ・サレー。



(右) 日曜日夕方、NCCCきってのチビで負けず嫌いのスレイ・ホーン。ロイ・サレーをグリグリでビレイし始めた。トモが優しくそばについてバックアップ。

(さらに右) 8回目のストームを受けて膨らむウォール東側のブルーシート。



注記: 本書全般で“AW”表記は、アンコール・クライミング・ウォール (プロジェクト) を差しています。

●収支概要

下記に事業初年度 (2009 年度) の決算処理より抜粋した収支を示す。ACNの会計年度は通常、7/1 より翌年 6/30 だが、今期に限り、ウォール (人工壁) プロジェクトが開始された 2009/3 を開始とした。

収入の部		支出の部		メモ
項目	金額(¥)	項目	金額(¥)	
寄付金	¥3,213,300	現地施工業者委託	¥1,423,392	AW,基礎工事、資材調達、屋根工事
会員年会費	¥10,000	資材工具輸入	¥97,130	AW, 日本→CA
オリジナルグッズ売上金	¥72,700	渡航・滞在関係	¥1,125,757	AW、保険を含む
銀行口座利子	¥95	修繕・調整	¥60,689	AW、ACN管理共
		ウォール用土地、家賃借	¥471,500	AW、ACN管理共
		現地光熱費	¥25,680	AW、ACN管理共
		その他	¥128,827	AW、ビザ取得、手数料など
		小計 (AW)	¥3,332,975	
		講習@岩場研修	¥319,975	現地 (交通費、飲食費等)
		現地スタッフ報酬	¥44,160	1 名 (スムロン)
		消耗品	¥229,363	事務備品、自転車なども含む
		通信	¥48,932	電話代などを含む
		その他	¥17,342	薬品、図書など
		小計	¥659,772	
合計	¥3,296,095	合計	¥3,992,747	(残高) -¥696,652

※実際の経理は4種類の通貨 (円、USドル、カンボジア・リエル、タイ・バーツ) 毎に管理されているが、本表では分かりやすくするために2010年6月30日の円/ドルレート (¥92/US\$) によってすべて円に変換して表している。

※小計 (AW) とは、概ねクライミングウォール建設関係に要した費用の合計。ACN管理費用と完全に分離は出来ないものもあるので参考データとしてここに挙げてある。

※マイナス表記残高=代表・伊藤忠男からの借入金。

※決算報告書は、ACN役員、ACN会員、寄付・寄贈された方へのみ配布されている。その他の方で閲覧を希望される場合は巻末を参照されたい。

●代表理事・伊藤から里親基金、再度のお願い

現地拠点維持とスクーリング及び、インストラクターの発掘とトレーニングの継続に、[毎月\\$ 1, 270](#)が見込まれています。前号で里親基金を訴えたあと、

☆☆☆ [4人の方から里親の申し出がありました。ありがとうございました](#) ☆☆☆

紙面を借りてお礼申し上げます。

でも、[目安は12人](#)なので、本号でも再び訴えなければなりません。本号を編集している今月 (9月) から、伊藤忠男と浅井和英が連携してカンボジア・シェムリアプ現地に駐在を開始します。10月にはクライミングウォールの一般公開も予定しています。前号と同じ内容になりますが、以下の要項で私たちの里親になっていただく方を探しています。

・里親にお願いすること

里親にはなるべく毎月寄付していただくこととなります。金額は月 10,000 円を目安としますが、じつは自由です。1,000 円でも 20,000 円でも構いません。途中の挫折も、飛び飛びも、あります。

・里親になる方法

アンコールクライマーズネット宛てに、[「里親になります」とご連絡ください](#)。インターネット環境をお使いの方は eメールで、あるいは電話やお手紙、はがき、FAX、何でも結構です。

・里親の期間

インストラクターの育成に3年を想定していますが、1年ごとに区切って前の1年の収支から次の1年の見通しを立てたいと考えています。ですので[里親の期間は1年](#)、会計年度に合わせて7/1～翌年6/30とします。



AW 雨季対策完了報告

2月1日にウォール工事の竣工が宣言されたが、その後も、様々な工事や調整、点検が続いた。ニューズレター2号でも報告したが、2月12日には、強風対策として、ウォールの支持構造体最下部に100kg超の砂を積めた土嚢を28体置いた。その後、雨季の開始を告げる一連のストームの到来と前後するように重要な残務工事を、はやる気持ちを抑えながらひとつひとつ実現していった。

●トタン屋根工事

屋根工事は地元の工務店2社に打診、最終的に南側隣地住宅に住む方から紹介されたM4斜め前の鉄工所に委託した。4月28日に着工し、5月3日に竣工した。若いワーカーが私たちのロープ、ハーネス、クイックドロ、スリングを使ってセルフビレイを取っていたのがとても印象的だ。リーダー格のワーカー曰く。疲れてくると集中力が無くなるので怖いんだよ。“カンボジア人は危険を感じない”としたり顔で言う人がいるけれど、そうでもないんじゃないか。



トタン屋根が完成した

高所を飛び歩く屋根工事のワーカーたち。ハーネス、ロープに注目！



中央を縦に引かれているのがスチールケーブル



●鋼索工事

支持構造体最下部の土嚢設置は東からの強風にしか効果がないと判断、雨季の主流となる西からの強風対策として、構造体の上部南端北端にそれぞれ8mm径のスチールケーブル（鋼索）の片端を接続した。さらに西側の空き地にコンクリート600mm□*（深さ）1000mm基礎を作り、そこに鉄筋を出してスチールケーブルのもう一端を連結した。工事は伊藤忠男とスムロン、それに前出の若い屋根工事ワーカーが2人、ボランティアで対応した。

●ラッピング

上部を覆うトタン屋根だけでは風を伴う雨はウォールを濡らす。そこで、ブルーシートと（株）モンベルから

寄贈されたタープで、ウォールを構造体ごとすっぽりラッピングした。良く知られているようにブルーシートは強風を受け続けると比較的短時間で破断する。様々な試行錯誤を繰り返し、シートが強風を受けても大きく動かないようにロープで構造体ごと押さえ込むことにした。5回目のストームは強力で、幾つかの弱点があきらかになり、その対策を盛り込んでさらに強力な7回目のストームを乗り切った。作業には伊藤忠男がフルタイムで、スムロン、ときに高木智子がパートタイムで関与し、5月いっぱい掛けて、雨季を凌ぐスタイルを完成させた。最終的にロープの使用量は200mを越えた。この時点が、本来の意味での、クライミングウォール建設工事の竣工だった。



ブルーシートのラッピングが完成した

AW 一般公開に向けて

ACNでは、AW（アンコールクライミングウォール）を10月公開予定で準備を進めている。NOCC（カンボジアオリンピック委員会）への、CCF（カンボジアクライミング連盟）設立申請書が、対応窓口を受付けられる時点が、キックオフ（公開）の目安である。当該申請については、ACN理事スロンをCCFの発起人として処理を進めている。CCFが正式な国を代表する機関となればACNはその傘下となるシェムリアップ州を代表するスポーツクライミング振興団体として、カンボジア王国に認識されることになる。そして、国際レベルでのコンペに参加するカンボジアの代表となるクライマーは、CCFで選出することになる。



プノンペンにあるカンボジア・オリンピック委員会

●ビジター受入れ

ビジターへの対応は、伊藤忠男、浅井和英、スロンのうち2名以上で行う予定だ。何らかの都合で2名揃わない場合は公開を中止する。時間帯によってはインストラクター候補生（NCCCのソッチェット、サオピア）も助手として参与することになるが、必須の2名には数えない。

1. 予約制

当面は予約制とし、週末主体に公開する見込み。公開時間帯は午前7:00~10:00、午後16:00~19:00となる見込み。また、強い紫外線の影響と盗難の可能性から、クイックドロ、ロープなどは一切残置しない。

2. 利用料

公開月（10月予定）中は無条件にギヤレンタルも無料とする方針だ（無論、寄付は受け付ける）。その後は、下記の料金に内定している。ただし、AWは非営利事業のため、施設利用料などはすべて寄付金として扱う。従って、表にあげた料金は、ビジターに対しての寄付金額の目安であり、運営者（ACN）が何らそれを強制するものではない。『施設維持管理に掛かる費用についてのお願い』文言は受付に常備、必読は登録の条件だ。

Visitor	Climbing fee(one day)	Climbing Gear	Rental fee(one day)
Tourist	US\$10	Harness	US\$5
Resident	US\$3	Shoes	US\$5
Khmer	Free(accept donate)	Chalk Bag	US\$3

3. 登録

・リスク受入の同意

利用希望者は例外なく、事前に利用者登録をしなければならない。「誓約書」（日本人向）または「権利放棄書」（英語圏向）に必要事項を記入の上、署名が必要。（クメール語の誓約書も近日中に用意出来る見込み）

・団体利用

運用規約では30日前に申請受付、理事会にて審査を行うことになっているが、営業講習などの振る舞いが見えていないので当面は許可しない方針だ。

・未成年者の利用

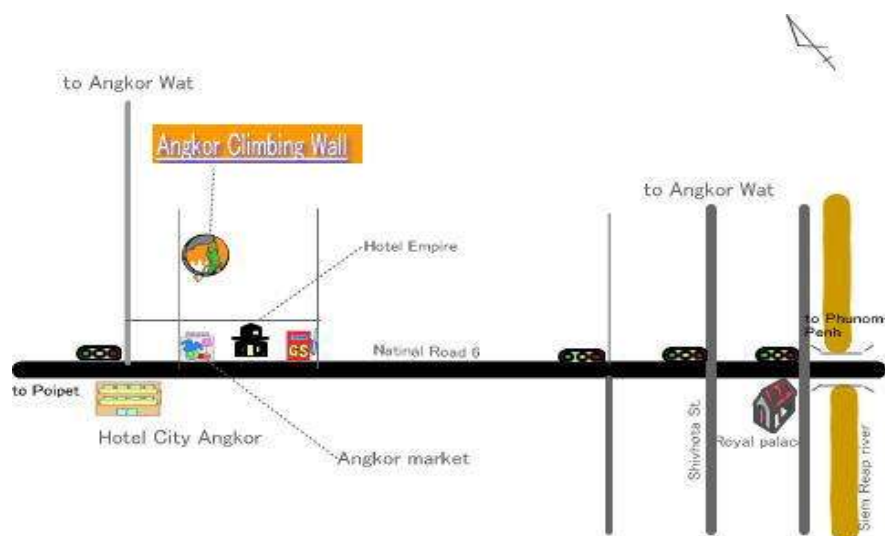
18歳未満は、前出「誓約書」または「権利放棄書」で、保護者の同意が必須。また12歳以下の未成年者にはさらに、実際の利用に際して保護者の同伴を必要とする。

4. 広報

基本は口コミ主体。チラシをレストラン、コーヒーショップなどに貼ってもらうことは考慮中。

5. We b

ACNホームページにFacilityをボタンが追加され、AW専用ページへリンクする。9月中旬改修アップ予定。各メディアを含む関係者へアップ情報をメールにて通知する。



AWはシェムリアップ中心街の古市場からトクトクなら5分。自転車では10分

会員募集、その他

●Angkor Climbers Net(ACN)入会のお祝い

現在ACNに一般会員登録されている方は4名のみ。そのうち2名は会費を滞納している。かくも存在意味が超希薄な会員制だ。一方、会員(会費)は集まっていないのに、大勢の方からの、様々な金額の寄付でウォールは出来た。しかし、その運用はどうなるのか。良く聞く話だが、学校建設も同じみたい、モノ(校舎)は出来た、でも、このあと先生や教材、授業はどうなるんだろう?、っていう状況とそっくり。ウォールは出来たけれど、それだけでは何も達成されない。ウォールは目的ではなくて、それを実現するための道具のひとつに過ぎないから当然だ。僕らは、カンボジアで正しいクライミングの実現をお手伝いしている。それで、どうやらこの道具はカンボジアの過酷な環境には、あまり向いていないことが分かってきた。こんなことでは、ともすると、僕らは使う筈の道具に使われてしまいそうだ。これから3年間何とかこの道具を生かして、正しいクライミング技術を持った指導者をひとりでも多く育てたい。それで日本ならやらなくても良いような整備や点検を汗まみれになって繰り返したりしているのだ。で、3年間は長丁場だから、寄付よりも会員制をきちんと固めて毎年確実に決まった金額が集まる方がずっとやりやすいと思う。そこでみなさんにお預けです(口調が変わります)。今後は会員制をちゃんとしたいと思います。どうかご協力を。ACNに入会していただける方は、電話でもemailでもお手紙ハガキ口伝え、何でも結構です。お知らせください。会員の特典、入会時の特典は下記の通り、ちゃんと完備されています。

ご希望されれば;

- ① ACNの発行するニューズレター紙版、email版の配信
- ② カンボジアのクライミング状況をメールにて配信
- ③ カンボジアのクライミングエリア概要とトポの配布
- ④ 現地に来られたときのサポート
- ⑤ ACN-Houseが空いていれば宿泊可能
- ⑥ 入会時に記念品をプレゼント

※伝説の“tomo's 末端処理”が入ったACNクロマーとかなどなどが、受けられます。よろしく願います。(伊藤)



ACNクロマー、末端処理に注目(断ち始末というそうです)

●お知らせ

・毎号繰り返しますが、大勢の方から寄付・寄贈をいただいています。お礼申し上げます

2010/8/31 現在、寄付金の累計総額は、**¥2,887,700、及び、US\$4,300**です。

以下の方々からの暖かい寄付によってACNはカンボジアでの活動を支えられています。ありがとうございます。

中江恵美子、堀田圭子、高木智子、中江恵美子、清水逸郎、榎田時子、吉富明、野草茶のカリン、安田至宏、大岩明子、(株)モンベル、堀田圭子、塚内尚子、菅修三、浅田信一郎、岡部茂幸(みち子)、榎田睦、清水不二、門多治、門多真理子、児島宏典、高橋千鶴子、清水恵美子、林桂子、福神和子、黒川紀子、栗原俊雄、才原明男、沢田千津子、栗原孝、伊藤文博・君江、虎本節子、三上ゆたか・すみれ、杉田教夫、富田晶子、大澤昭夫、永井則子、鎌倉ピースロード、有泉重正、大澤雅江、榎澤健治、小林良慈、保坂和男、堀田文男(以上、順不同)

以下の方々から、クライミングギヤ、開拓ギヤ、その他備品等を寄贈いただいています。ありがとうございます。

(株)モンベル様、菊地敏之様、伊藤文博様、塚内尚子様、中島審也様、榎澤健治様、安田至宏様、北山真様、丸山明子様、栗原俊雄様、森山議雄様、多川敦様、有泉重正様、浅井和英様、(株)ピラミッドジャパン様、(株)ロストアロー様(以上、順不同)

アンコール・クライミング・ウォールには下記の方から譲っていただいた中古ホールドが使われています
ありがとうございました。(順不同)

クライミングジム・ビッグロック様、アート・ウォール様

なお、8月に(株)ロストアロー様から新品のホールドを100個寄贈いただきました。謹んでお礼申し上げます。
雨季明け頃に、浅井和英の手でレイアウトされる予定です。



引き続きみなさまの暖かいご支援をお願い致します。

★★★ 寄付金口座 ★★★

■ゆうちょ銀行

記号 10010
番号 75286831
口座名 アンコールクライマーズネット

■三菱東京UFJ銀行

支店名：調布支店
預金種目：普通預金 口座番号：0081781
口座名：アンコールクライマーズネット

Webサイトでもご確認出来ます

http://www.angkorclimbers.net/can_donation.html

☆☆☆ アンコールクライマーズネット連絡先 ☆☆☆

■アンコールクライマーズネット（日本）
伊藤忠男気付
〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506
tel. & fax +81-(0)42-498-2488

■アンコールクライマーズネット（カンボジア）

Angkor Climbers Net (ACN)
tel. +855-(0)77-508653, +855-(0)12-1759970

・郵便住所

POBOX 93044, Siem Reap, Siem Reap, Cambodia

・所在地

c/o Moloppor Café
Wat Bou village, Salakomrauk commune
Siem Reap, Siem Reap, Cambodia

■email letsclimb@angkorclimbers.net

★メモ：ACNの正式な「2009年度決算報告書」（頁数16）、及び「2009年度総勘定元帳」（頁数25）の閲覧を希望する方は伊藤忠男までご連絡ください。email: chu@angkorclimbers.net

聖山クーレンの最高点踏査

アンコール文明の発祥で名高い聖山クーレンは、山というより東西2.5km、南北4~8kmに渡る広大な高台だ。そこにはかなりな間隔でボツンボツンとピラミダルなピークが散在している。クーレン山の最高峰は地図上で487mと記されている。登山をやってきたものとしてやはり最高点を踏みたい、ずっとそう思ってきた。祝日に子供たちのクライミング教室をやったので僕らは久々週末が自由になり、ロン、ベンヌーとその踏査に出掛けた。観光客と無縁な東端の登山口スパイラーから夕方タベン村に登った。以前に泊めてもらった地区長さんの家にまた厄介になった。翌朝2人の村人とピークを目指して村の背後に出ると、カンボジアでは見たことのないびっくりするほど透明な水を湛えた溜め池が現れた。(伊藤)

タベン村背後にある大きな溜め池



contents

- 01 表紙
早朝ウォールでトレーニングするソジェット
グリグリを使うスレイホンと見守るトモ
ストームを受けるウォール
- 02 2009年度会計報告
収支一覧
里親基金の再度お願い
- 03 AW雨季対策完了報告
屋根工事ワーカー
- 04 AW一般公開に向けて
NOCC建物
CCFロゴ
施設維持管理費（寄付）料金表
M4案内図
- 05 ACN入会のお願い
ACNクロマー
- 06 聖山クーレンの最高点踏査
タベン村背後の溜め池

editor's note

・3号から時間が空きました。2~6月まで殆どウォールにいました。4月は、暑さに弱い僕にはお過酷で、ことにデスクワークに集中できませんでした。しかし、この半年の試験、調査、点検で、ウォールとの一体感みたいなものを感じました。いよいよウォールをビジターに公開します。予断も油断も禁物ですが、とはいえウォールの耐久性はあまり期待できません。限られた時間（たぶん限られています）でベストを尽くします。よって、まだまだ苦難は続きます。みなさま、これからもよろしくお願ひします。(Chu)

©禁無断転載

アンコールクライマーズネットニュースレター

2010年8月号 NO.4 2010年8月31日発行

非売品

発行人 伊藤忠男

編集人 伊藤忠男

発行 アンコールクライマーズネット (Angkor Climbers Net)

〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506

tel 042-498-2488 fax 042-498-2488

<http://www.angkorclimbers.net>